



朝日子だより

学生編 Vol.19

吉田高校の皆さんへ

経験が血となり肉となる。学問は、あらゆるところに存在する。いざ、刮目せよ！！

太田 健太郎（平成25年度普通科卒業）

高校時代は、剣道部に所属。東北大学法学部に進学後、自転車で日本一周に挑戦。

現在は、法科大学院で司法試験合格に向けて日々猛進中！

在籍校：中央大学大学院 法務研究科 法務専攻専門職学位課程 3年

大学院での生活

大学院は、法曹（弁護士、検察官、裁判官）を養成するための専門職大学院であり、法律を理論と実務の両面から学び、法曹に必要な学識及び能力を培う学校です。具体的には、大学の研究者の先生方や、弁護士、裁判官等の実務家の先生方の指導のもと、民法、刑法等の理論的科目や、模擬裁判、法律事務所等での就業研修などの実務的科目を学びます。また、教授の指導の下、研究を行うこともでき、私は、コンビニエンスストアの法律問題について経済法という法律の観点から研究しています。中央大学法科大学院ではクラスがあり、基本的にクラス単位で授業を受け、授業が終わった後は、各自授業の予習復習をしたり、自分の勉強をしたり、バイトをしたり、遊びに行ったりとさまざまな過ごし方をしています。基本的には授業後も夜遅くまで勉強していく人が多いです。クラスではときどきクラス会なども開かれ、皆同じ進路を目指しているのもあって学生同士の仲が良いです。生活のイメージ的には、部活のない吉高での生活に近いかもしれません。



大学での経験

大学時代にはサイクリング部に所属しており、野宿をしながら日本中を自転車で旅行していました。また、部活の友人たちは旅行好きな人が多く、部活以外でもアジアをバックパックで旅行したり、キャンプをしたり、山登りをしたりと色々なところに遊びに行きました。大学では自分とバックグラウンドが大きく異なる人たちとの交流することができ、自分の世界が大きく広がります。皆さんが大学に進学された際には、好きなことでも嫌いなことでも、興味があることでもないことでも、4年間を目一杯使って経験してみることをお勧めします。

受験勉強のススメ



法科大学院は、所属する全員が司法試験の受験生であることが特徴です。私も、大学院では基本的に司法試験の受験勉強をしており、朝9時から夜10時ぐらいまでは勉強しています。司法試験は公法系（憲法、行政法）、民事系（民法、商法、民事訴訟法）、刑事系（刑法、刑事訴訟法）、選択科目（労働法など）の計8科目について法律論文を作成し、憲法、民法、刑法については論文に加えてマークシート方式の出題もなされる試験で、受験勉強はかなりキツイです。勉強のやり方は人それぞれですが、私は主に過去問などで問題演習をしながら、基本事項を毎日復習するという勉強方法をとっています。吉高生の皆さんにとっても、大学受験は大きな目標の一つであるかと思います。ちょうど私も受験生ですので、皆さんにおススメの受験勉強の考え方を紹介したいと思います。良いなと思って頂けたら参考にしてみてください。受験勉強では常に目標を意識して勉強することが重要だと思います。皆さんの行きたい大学がある場合にはなるべく早い時期に過去問を時間を計って解いてみてください。全く歯が立たなくてもかまいません。ここで大事なのは実際に試験を受けるときまでに自分がどの能力をのばしていくべきなのかを細かく確認することです。自分と目標との距離を常に正確に測りながら勉強することで、自分が本当にすべき勉強がわかるようになり、点数を大きく伸ばすことができると思います。（例えば、〇〇大学の英語の設問2が全然できないな→なぜできないんだろう→設問2は英文の構造が難しい→英文解釈の問題集をここからここまでやってみよう。という感じです。）普段の勉強から入試レベルに到達するのではなく、入試のレベルに合わせて普段の勉強内容を変えて行くことを意識してみてください。どこをどう勉強すれば合計点が何点上がり、目標点の〇〇点に届くというところまでわかるようになれば最高です。

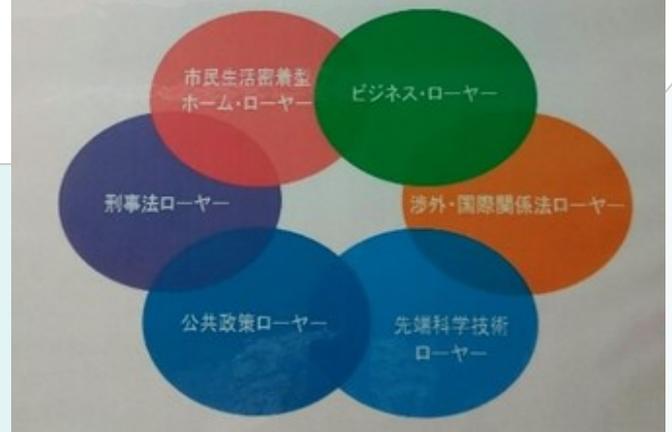
修了後の進路

目標があれば、我慢できる。明確に自分の旗を掲げよう！！

法科大学院卒業後、司法試験に合格すると、司法修習という研修を経て、弁護士、検察官、裁判官のいずれかになることができます。また、近年ではキャリアが多様化しており、弁護士資格をもって企業で働く方、法律知識を生かして官公庁で働く方、起業をされる方などもいらっしゃいます。いずれの仕事も、法という道具を使い、困っている人を助け、社会に貢献できる素晴らしく、カッコいい仕事だと思います。私自身も、社会に大きく貢献できる人間になりたいと考えたことから、企業の問題を取り扱う企業法務系の弁護士を志望しています。



6つの法曹像



今後に立っていると感ずる高校時代の経験



私は高校時代剣道部に所属しており、平日は毎日稽古をし、土曜日は練習試合や遠征、部活の後は基本的には勉強し、ときどき勉強をサボって遊びに行ったり、という感じで忙しく動いていました。しかし不思議と辛かった記憶は全然なく、隙間がないぐらい忙しかったからこそ、一つ一つの活動のパフォーマンスも上がり、遊ぶのも楽しかったように思います。吉高での部活や勉強を忙しい中で並行して頑張った経験は、大変なことがあってもへこたれない根性を身に付けさせてくれたと感じています。

吉高生へのメッセージ

共に学びあう

戦友たち!!



私が吉高生の皆さんに意識して頂きたいのは、具体的な目標設定をして物事に取り組むことです。自分がやりたいことは何なのか、自分がなりたいものは何なのか、行動をする前に、あるいは行動をしながら自分の理想像を考えてみて欲しいと思っています。具体的な目標を定めれば、それを実現するために自分がすべきことは何なのか、どのような能力を磨くべきなのか自然とわかってくるものだと思います。最後に、特に三年生の皆さん、受験勉強は辛いかと思いますが、全力で取り組み、終わってみると案外楽しい思い出となっているものです。どうか妥協せず最後まで全力で駆け抜けていってください。私も皆さんと同じく受験生です。一緒に頑張っていきましょう。



ロースクール